

# 福島第一原子力発電所1～3号機の原子炉停止時の放射性物質(ヨウ素131、セシウム137)の量について

平成23年4月14日  
原子力安全・保安院

12日に公表した「東北地方太平洋沖地震による福島第一原子力発電所の事故・トラブルに対するINES(国際原子力・放射線事象評価尺度)の適用について」で記載した福島第一原子力発電所の原子炉から大気中への放射性物質の総放出量については、以下の原子炉停止時の放射性物質の量を踏まえて算出しています。

放射性核種	原子炉停止時の放射性核種の量(ベクレル)	想定放出量※(ベクレル)
ヨウ素131	$6.1 \times 10^{18}$	$1.3 \times 10^{17}$
セシウム137	$7.1 \times 10^{17}$	$6.1 \times 10^{15}$
(ヨウ素131換算値)	—	$2.4 \times 10^{17}$
合計	—	$3.7 \times 10^{17}$

※ 4月12日公表済み

# 放射性物質の大気中への放出経路の例

実測されている圧力、温度等のデータが再現されるように事象の進展状況を検討し、事象進展に伴う放射性物質の移行・放出を解析

